

ケアマネのコーナー連載

地域で暮らすお年寄りの支援① 認知症がある一人暮らしの女性

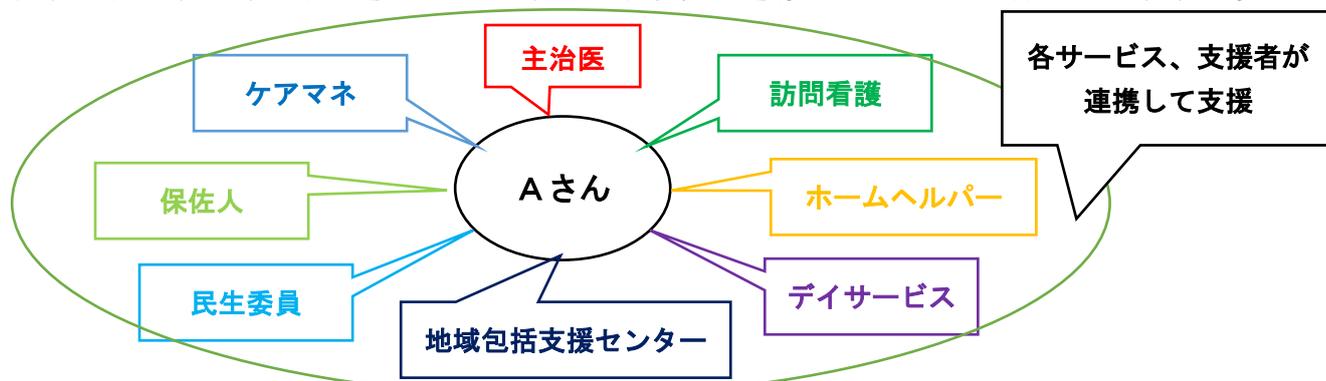
これから何回か、地域で暮らすお年寄りの方々をケアマネジャーがどのように支援しているか、お話しさせてください。読み手の皆さんに、こんな風にサービスを受けられるのかとイメージを持っていただき、いざという時には、ケアマネと良好なタッグを組んでいただいて、利用される方のより良い生活の道が開けたらと願うものです。

今回は、認知症のある一人暮らしの女性のケースです。なお、事例ではなく、私たちが経験したいろいろなケースから想定し作成したものです。

Aさん女性 80歳 要介護1 診断名 認知症、高血圧、糖尿病

- ・独居、未婚。兄が一人施設入所、他兄弟は死去。
- ・足の力がやや低下し、転倒のおそれがあり、お風呂に一人で入るのが怖い。しかし、多くの日常生活の動作はほぼ自立している。
- ・物忘れがあり傷んだ食品が冷蔵庫に多数。穏やかで明るいが、何かに拘るとそのことに集中。できごとの時間の順序とかわからなくなり、不安が増大、突然パニックになる。
- ・地域包括支援センターの支援で成年後見制度を申し立て、裁判所より保佐人が選任されている。

利用サービス：訪問看護週2回、訪問介護（ヘルパー）週2回、デイサービス週2回
他、保佐人、地域包括支援センター、民生委員が支援。ケアマネが全体の連絡、調整。



解決したい課題	サービス・支援内容
糖尿病の悪化を予防、健康状態の維持	主治医受診。訪問看護で健康チェック、薬の管理、栄養指導、健康相談、リハビリ、体調異変時の相談・対応。デイサービスで健康チェック、定期的な運動。ヘルパーで食品賞味期限等チェック（食中毒予防）、うす味のおかずづくり。
日常生活動作の支援	デイサービスで入浴。ヘルパーの手伝いで自宅でも入浴。
生活上の支援	保佐人が金銭管理。
社会参加と認知機能維持	デイサービスで交流や楽しみの活動、認知機能維持のプログラム
困ったときの相談	ケアマネが対応。訪問看護も対応。地域包括支援センターも支援。民生委員さんも訪問、見守りしてくれている。

分からないことが起きるとパニックになりますが、ケアマネや訪看が対応し、その後は落ち着いて過ごせています。将来の施設入所も考えておられ、ケアマネと保佐人が相談にのっています。

(居宅・加茂圭三)

